



鳥取県看護協会だより

こすもす

第184号

2023年8月発行

会員数 4,222名

保健師 97名

助産師 209名

看護師 3,872名

准看護師 44名

(令和5年8月5日現在)

公益社団法人鳥取県看護協会

〒680-0901 鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail: kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<https://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>



ホームページ新着に
「こすもす184号」を
9月末掲載します！

令和5年度テーマ ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護

2023年「看護の日・看護週間」事業

看護フェア2023

～看護の心をみんなの心に～



5.12

看護の日

看護の心をみんなの心に



CONTENTS

会長ごあいさつ	P 2
令和5年度新体制役員紹介・委員会紹介	P 3～6
新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み／認定看護管理者ファーストレベル 教育課程受講者の声／ナースングデイこすもす開所3周年記念イベント	P 7
2023年「看護の日・看護週間」PRバス出発式・看護フェア2023開催報告	P 8
養和病院施設紹介／プラチナナース	P 9

がんばる！育ナース／推しメン／認定・専門看護師	P 10
国境を越え活動する看護職／看護職員の処遇改善について②／ がんカフェからのお知らせ	P 11
令和5年度 鳥取県看護協会役員選挙開票結果／理事会報告	P 12
鳥取県ナースセンター便り（第2号）	P 13
表彰／協会からのお知らせ／新刊図書／編集後記	P 14

会長ごあいさつ

会長 松本 美智子



平素より 会員の皆さまには、本会事業につきましてご理解とご支援・ご協力を賜りまして感謝申し上げます。

去る6月4日に開催されました令和5年度鳥取県看護協会通常総会、理事会におきまして承認をいただき、会長として2期目を迎えます松本美智子でございます。今後とも変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

3年以上にわたり対峙してきました新型コロナウイルス感染症が5月8日に5類へと移行しました。それまで、保健・医療・福祉などあらゆる場でご尽力いただきました看護職の皆さまには、敬意を払い深謝申し上げます。最近は感染者やクラスター発生の増加、より免疫を逃れやすい変異ウイルスの増加などもあり、終わりの見えない新型コロナウイルスとの闘いはまだまだ続いております。職員の感染で勤務者確保に苦慮され、中等症以上の高齢者の入院等で病床逼迫も生じておりますので、看護職の皆さまにはまだまだご尽力をいただくこととなりますが、引き続きましてよろしくお願いいたします。

さて、令和5年度鳥取県看護協会通常総会は、4年ぶりに通常開催とし、59名の会員の皆さまのご参集とご来賓の皆さまにもご臨席を賜り開催することができました。まだまだコロナ前の体制には及びませんが、参集しての開催ができましたことをうれしく思っております。

令和5年度の重点政策・重点事業は、令和4年度に引き続き「1. 健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築」「2. 看護職の働き方改革の推進」「3. 少子高齢社会に対応する看護職の人材育成と専門性の発揮」「4. 地域の健康危機管理体制の整備」「5. 公益社団法人としての組織強化と確立」といたしました。

そして、今年度新たに、看護職間のネットワークのさらなる強化、在宅医療推進に向けて訪問看護支援センター体制の強化、訪問看護ステーション大規模化のためのワーキングの設置、看護職員の賃金制度の見直し等処遇改善の実現に向けた取り組みの推進、プラチナナースの交流・活躍の場の推進、看護師基礎教育の4年制化について考える会の開催、新興感染症対応を含めた災害支援ナースの派遣体制の構築などの事業に取り組んでまいります。

コロナ禍で多くの課題が顕在化し、少子高齢社会を迎えるにあたっての多くの課題も待ったなしの状況で押し寄せてきます。看護職の確保と定着、役割拡大、働き方改革、危機管理などの課題解決に向けて、会員の皆さまとともに一步一步取り組んでまいりたいと思います。今年度は、看護師等の人材確保の促進に関する法律が30年ぶりに改正されますし、令和6年度から開始となる第8次保健医療計画の検討が始まっており、看護職の今後の活動に大きく影響してきます。「人々のいのち・暮らし・尊厳を守る」職能団体として、社会的役割を果たし、県民の皆さまから信頼される職能団体であるためには、会員一人ひとりが専門職として自律し、その責務を果たしていくことが重要であり、若い世代から看護を選んでいただけるような職種であることが重要です。鳥取県看護協会は、関係機関との連携・協働を図り、職能団体としての役割を果たしてまいりたいと思いますので、今後とも会員の皆さまのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度新体制 役員のご紹介

令和5年度通常総会において、新役員が選任されました。

新体制で一丸となって事業を推進いたします。

皆様のご協力よろしくお願いします。



副会長 理事

徳田 順子 (新任)

鳥取赤十字病院

看護を取り巻く環境は目まぐるしく変化してきています。どのような状況でも「県民のその人らしい健康な生活に貢献する」という看護協会の使命は普遍です。少子高齢化の中看護職一人ひとりが元気で、看護の力を発揮していくために看護協会としての役割は重要だと感じています。会長を補佐し、副会長としての役割が果たせるよう尽力していきたいと思います。



副会長 理事

上田 尚子

鳥取生協病院

新型コロナウイルスが5類へ移行となった年です。私たちがどう感染症と向き合うべきなのか突き付けられているのだと強く感じています。看護職員数が増えることは難しい中、看護の質が一層求められています。看護協会の使命である「人間としての尊厳の維持、その人らしい健康な生活」を支援することは看護の質そのものだと思います。このことに貢献し、重点事業が推進できるよう会長の補佐役として、副会長の役割を果たしてまいります。



専務 理事

植木 芳美

鳥取県看護協会

令和5年度は「ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護」をメインテーマとし、重点政策・重点事業を展開しています。全世代の地域住民の健康といのちを支える看護機能の強化・看護提供体制の構築に向けて、会長・副会長を補佐し、会員の皆さまの声を、関係者との協働により、看護職員の処遇改善に向けた取組みを始めとする看護政策の推進につなげることができるよう、職責を果たしてまいります。



常任 理事

長谷川 ゆかり

鳥取県看護協会

新型コロナウイルス感染症は、5月8日以降5類感染症となりましたが、看護職の確保、看護提供等、新興感染症へ対応できる体制づくりを行っていきます。また、訪問看護師の確保と人材育成に力を入れてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



常任 理事

谷口 玲子 (再任)

鳥取県看護協会

看護職を取り巻く環境や社会情勢は年々、大きく変化しています。今後、更に少子高齢化社会を迎えて行く中で、他の団体と協働して県民の皆様、会員の皆様の課題解決に向けて尽力してまいりたいと思います。

ことに看護職の人材確保・定着と就業促進に向けて、創意工夫をしながら取り込んでいきたいと思っています。



保健師職能 理事

川上 美都江 (新任)

米子市福祉保健部

多職種連携で、地域包括ケアシステムの推進に努めるとともに、保健師同士のネットワークを強化していきたいと考えています。保健師同士が所属や組織、分野を越えてつながり、苦悩や喜び、気づき、地域課題を共有できるような場を持つため、各地区で座談会を実践し、ネットワーク強化を進めていきます。また、地域で必要な存在であり続ける保健師となるよう努めてまいります。



助産師職能 理事

大谷 多賀子

鳥取大学医学部保健学科

今年の重点事業は、①助産師の確保・活動推進、②母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの構築、③ICM会員協会としての活動基盤強化の3点です。助産師の魅力を積極的に地域に情報発信し、院内助産・助産師外来の普及・周知に取り組むこと、更に、母子のための地域包括ケアシステムに求められる助産実践能力の強化に努めてまいります。



看護師職能(病院領域)Ⅰ 理事

森田 理恵

鳥取大学医学部附属病院

病院看護職の働き方改革の推進に向け、処遇改善への取組や多様で柔軟な働き方、看護の専門性の発揮に資するタスクシフト/シェアの推進に関する事例など、課題発見や意見集約を中心に事業を進めていきます。また、地域包括ケア推進に向けても、各病床機能における看護の実情に応じて、病床機能に留まらない在宅につながる看護を提供するための取り組みの検討及び、働き続けられる職場づくりを目指した取り組みも進めていきます。



看護師職能(介護・福祉関係施設・在宅等領域)Ⅱ 理事

高須 美香

社会福祉法人こうほうえん法人本部

理事会にて看護職能団体として適正な運営が確保できるよう細心の注意を払いながら議決権等の権利を行使します。また、委員会活動等を通じて、地域や現場の声を鳥取県看護協会会長に届け、現状に即した政策提言をしたり、全世代型の地域包括ケア体制の拡充にむけ、事業所・職種を超えた連携が当たり前に行えるよう協会活動にも積極的に参画します。



東部地区 理事

横山 加奈子

鳥取市医療看護専門学校

看護フェアを通して看護のすばらしさをアピールできるよう、今後の医療を担っていただけるよう人材確保のため委員会の皆様と企画していきます。また、地域住民の皆様へ看護職の活動を理解していただき、健康・福祉の増進を図れるよう努めていきます。地域の看護職がやりがいを感じながら看護できるよう取り組んでまいります。また、看護研究学会の運営に携わり、看護研究レベルアップに向けて取り組みます。



東部地区 理事

田中 幸世（再任）

鳥取県立中央病院

1期はコロナ禍のため委員会で企画・予定していた事業の中止がありました。2期目となり通常の生活になりつつある中で看護職が専門性を発揮し、やりがいを感じ、地域住民から信頼される存在でいられるよう会員の皆様と共に取り組んでまいりたいと思います。担当する東部地区活動、まちの保健室委員会の活動に多くの会員の皆様、地域住民の方々が参加していただけるようニーズを把握し委員と共に企画・運営していきたいと思っています。



中部地区 理事

穂山 八重子

垣田病院

担当地区の理事として地域のために健康に関する情報収集や課題解決への取組み、看護職種間の交流を推進していきます。また、医療安全委員会の今年度の研修会はチームステップス、交流会はタスクシフト・シェアについての施設間の情報交換、情報共有です。看護を求められる場面は多様化しています。より安全な医療、看護が提供できるよう、医療安全活動を推進するために役割を果たしていきたいと思っています。



中部地区 理事

竹本 智美（新任）

鳥取県立厚生病院

2040年を迎えるにあたり、看護職の役割も大きく期待されています。日本・鳥取県看護協会の方針を理解し、全国でも高齢化が進んでいる中部圏域で看護職のみなさんとネットワークを強化して地域活動に取り組んでまいります。また、各地区の活動や特性がたつわり関心が持っていただける広報誌の作成に努めてまいります。



西部地区 理事

寺地 栄子

大山リハビリテーション病院

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行となり、地域住民の皆さんと直接触れ合いながら看護職の役割をご理解いただく活動ができたらと思います。また、地域住民の健康・福祉の増進や将来の看護人材の確保に向けた活動ができるよう努めます。看護職がその専門性を発揮でき、やりがいを感じながら看護できるよう、横のつながりを大切に地区活動に取り組みたいと思います。



西部地区 理事

岡本 文枝（再任）

山陰労災病院

看護フェアや「まちの保健室」との協働を通じて、地域住民の皆さんに看護職の活動を理解いただき、健康・福祉への貢献、看護の発信、将来の看護人材確保につなげていけるよう努めます。また、地域の看護力アップに向けて、看護職間のネットワークがより一層強化できるよう皆さんとともに歩みたいと思います。



全区 理事

山本 健一（再任）

尾崎病院

看護協会の重点政策・重点事業に基づき全区理事としての役割を果たしていきたいと思っています。新型コロナウイルスも5類へ移行しましたが終息したわけではありません。今年度から災害支援ナース養成研修に新興感染症についての研修が新しく追加となります。災害看護委員会では円滑に研修が行えるよう努めてまいります。



監事

間庭 弘美

鳥取市立病院

監事として2年目を迎えました。ポストコロナ時代を見据え、看護職の処遇改善への取組、働き方改革推進、看護師基礎教育の検討など課題が山積しております。課題解決に向けた鳥取県看護協会の運営に対し、理事会に参画し、事業の把握、理事の職務執行の監査、業務及び財産状況の監査、各計算書類及び事業報告書を監査し、監事の役割を果たすよう努力していきます。



監事

谷口 祐子（新任）

智頭病院

公益社団法人鳥取県看護協会では、県内看護の質向上、発展のため、沢山の事業が展開されています。その運営に対し、理事会に参画し、理事の職務執行を把握するとともに、業務監査・会計監査を適切に行い、監事の役割が果たせるよう努力いたします。

令和5年 通常総会を開催しました

令和5年6月4日（日） 場所 鳥取県看護研修センター



令和5年度 委員会紹介

令和5年7月6日・7日の2日間に分け合同委員会を開催しました。

1年間、皆様のご協力のもと鳥取県看護協会の事業を推進し、公益社団法人としての役割を果たす委員会活動となりますようお願いいたします。

●担当理事

●委員長

職能委員会

保健師職能委員会

- 川上美都江
- 山村 裕子
- 松浦 治代
- 木村 満代
- 藤原 加奈
- 河本千鶴
- 米 順子

今年度の保健師職能委員会は、県内保健師のつながりを強化し、地域包括ケアシステムの推進に努めてまいります。保健師の連携強化、多職種連携を中心に事業を進めてまいります。



助産師職能委員会

- 大谷多賀子
- 小寺 理恵
- 岡野 正恵
- 岩田 美砂
- 幸田 尚子
- 山岡 裕子
- 松浦 英美
- 遠藤 明美

今年度は、助産師の活躍推進の検討、分娩取り扱い施設の集約化に伴う助産師の多様な働き方に関する実態把握と課題を共有していくことを軸に委員会活動を進めてまいります。



看護師職能委員会 I

- 森田 理恵
- 杉岡 智子
- 田淵 裕子
- 津村 朱美
- 中島麻希子
- 野儀由紀子
- 宮脇 正美
- 持田 聖子

自己と他者の新たな学びにつなげるリフレクション研修や、業務負担軽減に向けた看護記録の効率化の研修など、働きやすい職場づくりを目指した事業を進めてまいります。



看護師職能委員会 II

- 高須 美香
- 森尾みづほ
- 山田亜砂美
- 酒本さおり
- 中田小百合
- 松崎 容子
- 中曾なざさ

看護職の資質向上のため、今までの活動で培ったノウハウやネットワークをさらに広げ、現場の声を事業・研修・政策に反映できるように、委員会活動を進めていきます。



常任委員会

社会経済福祉委員会

- 徳田 順子
- 平井 豊
- 桑本 亨
- 垣田 真弓
- 西垣 和美
- 岸田 敏子
- 富田 千佳

労働環境改善と協会会員増加に向けた取り組みを主に行っていきます。ほとんどが新しく入ったメンバーですが、皆で力を合わせて頑張って取り組んでいきたいと思います。



医療安全委員会

- 穂山八重子
- 吉田 一恵
- 眞鍋 聡子
- 竹内菜緒子
- 藤原 裕美
- 金田 由佳

今年度はTeam STEPPSの研修会、また、医療安全管理者ネットワークを活用した交流会を開催し、安全なチーム医療について考える機会としました。ぜひご参加ください。



教育委員会

- 長谷川ゆかり
- 上野 文靖
- 石田 恵子
- 永見 悠
- 藤原 綾
- 坂田 和美
- 谷岡 智子
- 野口 幸子
- 遠藤 朋子
- 長尾 美香
- 松本真理子
- 足立 好美

意思決定支援や心不全、感染研修等を集合やZoomを活用しハイブリットで開催していきます。臨床で活かせる研修になっていると思いますので、参加お待ちしております。



認定看護管理者教育課程教育運営委員会

- 岡本 文枝
- 嘉本 賢哉
- 前田久美子
- 田中 菊枝
- 安部 和泉
- 小椋美保子
- 松本 緑
- 佐々木晶子
- 奥田 玲子
- 宮脇 映子

今年度は、ファースト及びセカンドレベル研修を開催致します。看護管理者に必要な知識を体系的に学び、看護管理者の役割について理解が深められるよう支援して参ります。



広報委員会

- 竹本 智美
- 谷本 玲子
- 山下由起子
- 山本 真美
- 山本 有加
- 村中 沙紀
- 岡本 智子
- 門永 睦

今年度も協会活動周知の参加の呼びかけ、機関紙『こすもす』の中で、看護職の賃金体制の処遇改善について「日本看護協会労働政策部」発行リーフレット内容を紹介しします。



推薦委員会

- 横地小百合
- 玉川 陽子
- 出口 信子
- 磯江 宏美
- 磯江 光代

今年度は令和6年度鳥取県看護協会改選役員、令和7年度日本看護協会総会代議員、予備代議員、令和6年度推薦委員を中立・公平な姿勢と立場で選考・推薦を行います。



看護研究学会委員会

- 横山加奈子
- 山根 加絵
- 清水ひとみ
- 片山 悠子
- 中川 康江
- 金山 俊介
- 角田 紫
- 國本万智子

日頃の経験を研究的視点で振り返り、学会発表することで、多くの医療者と学びを共有し、明日への看護に繋がっていく事を願っています。たくさんの方の参加をお待ちしています。



災害看護委員会

- 山本 健一
- 村口 豊育
- 池嶋 一也
- 東原 有加
- 生林 裕子
- 中村 広大
- 木下 深雪

今年度より災害支援ナース養成研修の制度が変更となり、オンデマンド+災害・感染症の集合研修となります。災害看護研修とともにぜひご参加ください。



選挙管理委員会

- 児島 正子
- 小林 清史
- 川上美由紀
- 衣笠 亮
- 松本由美子
- 山根久美子

公明かつ適正に選挙運営ができるよう定款細則・選挙規定に則り委員みんなで力を合わせて取り組みます。



「まちの保健室」委員会

- 田中 幸世
- 野島 千恵
- 影山 佳菜
- 岡田奈津子
- 近藤 仁子
- 松本 弘美
- 大根むつみ

郵便局を拠点に、まちの保健室の開催日を昨年度より増やして実施し、地域住民の健康増進に貢献したいと思います。また「まちの保健室」の認知度を増やすことも目標としています。



地区活動委員会

東部地区活動委員会

- 田中 幸世
- 横山加奈子
- 榎 智子
- 田中 希美
- 北村 理恵
- 白築 陽子
- 大河原聡子
- 沓野 朋子
- 大畑 正子

地域住民の健康課題に視点をのいた看護フェアの企画開催、看護職の資質向上にむけて看護職が楽しく交流し親睦を深めることができるよう、委員一同尽力いたします。



中部地区活動委員会

- 亀山八重子
- 竹本 智美
- 山根 香里
- 松村 志保
- 永美 知沙
- 原田千加美
- 山根 裕美
- 由田 美香

地域住民の健康意識が向上し、看護へ関心が深まるような活動をします。また、看護職が元気になる交流会の開催に取り組みますので、ご参加をよろしくお願いいたします。



西部地区活動委員会

- 寺地 栄子
- 岡本 文枝
- 山本 智子
- 遠原賀寿恵
- 大山 博子
- 周藤美紀子
- 足立 佳子
- 関 千曉
- 渡部 明代

健康への意識や看護職への興味関心を高めていただく企画として、看護フェアを中心に地域の皆様へ貢献できる企画を開催します。また、西部地区看護職の交流・連携に努めていきます。



合同委員会の様子（7月6日・7日開催）

新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み

新型コロナ感染症対策室長 長谷川 ゆかり

▶ 5類移行後の新型コロナウイルス感染症への対応

①「鳥取県新型コロナウイルス感染症相談・支援センター」の開設

令和2年から対応してきた新型コロナウイルス感染症は、5月8日以降5類感染症となりました。たくさんの看護職の方にご協力いただき感謝申し上げます。

発熱等の症状のある方の受診相談窓口として開設してきた受診相談センターに、陽性者コンタクトセンターが担ってきた自宅療養者向けの相談機能を統合し、5類移行後の新型コロナウイルス感染症に関する県民向け相談窓口として一元に対応するため、鳥取県から引続き委託を受け、「鳥取県新型コロナウイルス感染症相談・支援センター」を5月8日から開設しています。新型コロナワクチン相談センターも引き続き開設しています。



②高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症対策現地指導の実施

高齢者施設及び障がい者施設に、認定看護管理者及び感染管理認定看護師等を派遣し、施設の状況を確認し、助言・指導を行い、高齢者施設等の新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止対策の一層の強化を図ります。

令和5年度 認定看護管理者ファーストレベル教育課程 受講生の声

…………… 鳥取大学医学部附属病院 大原 健三郎

私は、係や委員会活動においてリーダーとしてのマネジメントについて課題を感じ、ファーストレベルを受講しました。

看護管理について体系的に学習することで、患者やその周辺環境を理解する広い視野を持つようになりました。視野が広がったことで、様々な課題に直面しても、多角的な視点で物事を捉え考察できるようになってきたと自負しています。また、他施設の方とのグループワークでの意見交換を経験し、気づかされることも多く、今後の看護管理者としてのビジョンを考える良い機会となりました。受講生の多くが私のように管理者でないスタッフだったことも励みになりました。西部会場での講義もあり、受講しやすかったです。

他施設での取り組みや今回の学びを活かしたいと思います。

…………… せいきょう訪問看護ステーションすずらん 日裏 安代

今年から訪問看護ステーションの所長を務めることになり、管理について学ぶ機会をいただきました。研修を受けるまでは、日常業務を何とかこなし、「小さい事業所だから」という言い訳や責任転嫁をしがちでした。

研修では、現場の困難に対しての科学的な分析・対処法を学び、受講生との意見交流や課題に取り組む中で、具体的に学びを深めることができました。今は「どうすれば変えられるだろう、私には何ができるだろう」と主体的、前向きな思考となり、心に余裕ができました。

少人数の職場から研修参加することには困難もありました。支えてくれたスタッフ、元気をくださる利用者さんに感謝し、「良い看護の提供」と「スタッフの人生の充実」のために今回の学びを活かします。

訪問看護の活躍と大規模化が期待されている今、とてもおすすめの研修です。



閉講式集合写真 大島敏子講師を囲んで



グループワーク



5/20

ナーシングデイ こすもす

開所3周年記念イベント

ナーシングデイこすもすは、おかげさまで令和5年4月に、開所から3周年を迎えました。これまでの3年の間、新型コロナウイルス感染症の影響でできなかったことを実現したいと考え、①もっとナーシングデイこすもすのことを知ってほしい！②日頃の感謝の気持ちを伝えたい！③ご家族や地域の方々との交流の機会を作りたい！という思いが結集し企画を進めました。

イベント当日の5月20日（土）には、想像をはるかに超える100名以上の来場者があり、販売ブースでは売り切れ続出となりました。鳥取大学生の和楽器演奏会、職員による出し物、保育士によるイベント、金魚すくいやモルック体験でもたくさんの笑顔があり、大盛況となりました。ご来場ありがとうございました。

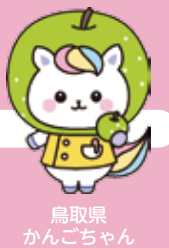
当日の様子は、こすもすのホームページに掲載していますのでご覧ください！



看護フェア2023 開催報告

～看護の心をみんなの心に～ いのちをまもるプロとして。

「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに、看護について関心を高め、支えあう心、助け合いの心といった看護の心を社会に呼びかけ、県民に看護の心を広め、また若年層を中心にプロフェッショナルとしての看護職の魅力を発信し看護人材の確保へと繋げていくことを目的に開催いたしました。



2023年「看護の日・看護週間」事業 看護の日PRバスが鳥取市内を走りました！



鳥取県庁で開催した出発式には、来賓として平井鳥取県知事よりご挨拶いただきました。小さき花園幼稚園ばら組園児による元気な歌の披露と看護職に向けた応援メッセージの首飾りをいただき、かんごちゃんとともに記念撮影が行われました。PRバスは「看護の日」事業のPRに向けて、鳥取市内を周回しました。（走行ルート：鳥取駅付近～イオン鳥取北店周辺～鳥取砂丘）



看護の出前授業、看護ミニ体験

東部地区

●日時 5月10日（水）13:10～15:20 ●場所 鳥取城北高等学校

①看護の出前授業

参加人数：同校で将来看護医療福祉等への進学を希望する1～3年生73名
授業テーマ：看護の魅力とやりがいについて
講師：鳥取県立中央病院 看護師 濱谷 鈴華 氏

②看護ミニ体験

参加人数：出前授業に参加した1年生22名
内容：手洗いチェッカー、パルスオキシメーター、聴診器、母性体験

東部地区活動委員会

今年度は日本看護協会の「看護の日」PRバスとかんごちゃんとともに鳥取城北高等学校で出前授業を行いました。同校出身看護師の「看護の魅力」講演のあと高校生一年生希望者を対象に「看護ミニ体験」を行い、興味津々に楽しく体験していただき、私たちもパワーをもらいました。「看護師は身近だけど知らないことがたくさんあった。」との意見もあり、参加者22名の内17名が「全ての体験が楽しかった。」と事後アンケートでの回答が得られました。「近い将来、皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。」と伝えることもでき、将来の職業選択の動機付けのひとつになったのではないかと思います。高校生たちの笑顔がまぶしく私たち委員にとっても楽しく良い一日となりました。



中部地区

●日時 4月30日（日）10:00～12:00 ●場所 倉吉未来中心 アトリウム ●参加人数 74名

●内容 医療機器等体験（吸引シミュレーター、母性体験、パルスオキシメーター、聴診器、血圧計、マスクフィッター）
パネル展示（世界禁煙デー他）/まちの保健室/鳥取県ナースセンターによる進路・就業相談

中部地区活動委員会

当日は会場周辺でフリーマーケットがあり、人通りが多い中での看護フェア開催となりました。まちの保健室による骨密度測定や、医療機器体験では「楽しかった。またして欲しい」「看護のことを知れて嬉しかった」「健康に気をつけたい」などの感想をいただき好評でした。10代の若い方の参加も多くあり、進路相談を真剣に受けられている姿や出生体重相当の赤ちゃん人形を怖々抱っこしたり、聴診器を胸に当てて「（心拍が）聞こえる！」と喜んでおられる場面がありました。看護の日キャラクター「かんごちゃん」も大人気で、参加された方も委員もほっこりしました。感染拡大で規模を縮小した昨年までと異なり、たくさんの方の参加がありとても良かったです。次年度も、看護について身近に感じていただけるようなフェアにしていきたいと思います。



西部地区

●日時 5月13日（土）14:00～16:00 ●場所 米子しんまち天満屋 ●参加人数 64名

●内容 医療機器等体験（呼吸補助具（バッグバルブマスク）、聴診器、心電図モニター）
認知症看護認定看護師による認知症検査/まちの保健室/鳥取県ナースセンターによる進路・就業相談

西部地区活動委員会

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたことに伴い行動制限も緩和され、今年度是对面式で看護フェアを開催することができました。骨健康測定や血管年齢測定は年齢層が高い方の関心が高く行列ができるほどでした。また実際に医療機器に触れ熱心に説明を受けておられる姿や、認知症検査では結果が悪く出るのではないかと心配されながらも良い結果に安堵される姿など、健康への意識の高さを感じました。またかんごちゃんは若年層に人気で一緒に写真を撮るなど幅広い年齢層にお越しいただけたと思います。アンケート結果から、「来年も開催してほしい」「子どもが看護（医療）に興味を持ち始めました」など嬉しいお言葉も戴きました。今後も地域の方の健康促進や看護職への関心を深めてもらえるよう活動していきたいです。



施設紹介

～ポストコロナ時代に
地域へつなぐ看護～

養和病院

昭和5年に「米子脳病院」としての開院から、医療法人養和会「養和病院」は93周年を迎えました。私たちのグループは、心と体のリハビリテーションを中心に、地域に根ざして医療、介護、福祉サービスを提供しています。その目的は、予防・治療から社会復帰、そしてその後の生活をサポートすることです。

新型コロナウイルスの拡大は、私たちにとって災害級の影響をもたらしました。この困難な状況に対し、私たちは地域の後方支援病院としての役割を全力で担い、一致団結して対応しました。その結果、地域の皆様を含むグループ全体の感染率を抑え、大きな影響を最小限にとどめることができました。

ワクチン接種では、ご利用者や職員に留まらず、職員の家族や協力する企業、そして地域住民に対する啓発活動と集団接種を継続的に行いました。さらに、職域接種への協力は三団体と連携し、地域に大きく貢献したと自負しています。

このパンデミックを通じて、私たちの組織内でのコミュニケーションが活発になり、職員間の絆も強まったと感じています。

私たちのこれらの活動は、グループの理念である「ご利用者の幸せ・地域の幸せ・職員の幸せ」に直結しています。アフターコロナの新しい時代にも、地域とともに歩むグループとして、引き続き努力と貢献を続けていきます。



病院の外観



多職種協力により幅広い検査体制



職域ワクチン接種協力

Keep Shining 輝き続ける プラチナナース

個人会員 森本 靖子

かつて日本看護協会元会長の坂本すが様が「看護師は生涯現役」との言葉に感銘を受け、何らかの形で地域貢献したいと考えていました。70歳を過ぎた頃、人生の最大の悲嘆をきっかけに、ピアノとの出会いがありました。現在「社会福祉法人真誠会サービス付高齢者住宅」にて音楽レクリエーションを実施しています。4年経過した今、平均年齢86歳の入居者様の大きな楽しみとなっています。回想療法を取り入れ、ピアノ伴奏にあわせて青春時代のなつかしい歌、季節感のあるなじみ深い歌など歌唱し思い出を語り、看護師ならではの健康に関する様々な講話もさせていただいています。歌唱前後の血圧・脈拍・血中酸素濃度の生理指標を調査した結果、音楽レクリエーション実施後は、脈拍が落ち着くなどの確認ができ、主観的・客観的情報から、ストレス解消効果や、飲み込む力が強くなりむせなくなった、声が良くなるようになった、と身体機能の改善を実感している方も多く、良く眠れるなど生活改善の傾向も確認できました。北欧視察研修時の、高齢者が高齢者を訪ね支える状況を思い浮かべます。「豊かに生きる」を目標に、看護師として新たな働き方は地域の皆様に支えられての賜物だと感謝しています。



がんばる！ 育ナース



日野病院
看護師 伊藤 颯哉

私は当院に入職して今年で6年目になり、現在1歳の子どもの1人います。

妻も看護師で令和5年5月から職場復帰し、6月からは夜勤を再開しています。子どもの保育園の送迎や、休日にどちらかが子どもを見る必要があるため、夜勤が被らないように勤務を組んでいただいています。他にも平日に迎えが必要な場合もあるため、遅番を組まないよう勤務調整をしていただき、仕事と育児の両立に協力的な環境で働かせていただいています。

子どもは保育園に通っているため、発熱があれば急な迎えや仕事を休むことがあります。ご迷惑をおかけすることも多々ありますが、職場の方々も子どもや私の調子を気にかけいただき、とても感謝しています。育児と仕事の両立がこんなに難しいと思っていなかったですが、職場の方々に子育ての相談やアドバイスをいただき、温かい職場環境で仕事をする事ができています。

ちょっと一息

推しメン

鳥取県立中央病院
看護師 絹川 由梧



私は入職後に神経内科・脳外科病棟で5年間勤務し、現在は整形外科病棟で看護実践を積み重ねています。両科の看護は共通する部分があり、神経内科・脳外科ではリハビリスタッフと連携して早期離床を図り、麻痺の改善を患者さんと一緒に喜び、麻痺が残存する中で生活再編に向け患者指導を行っていました。現病棟でも退院後の生活を見据え、術後の早期リハビリ、他職種とのカンファレンスを通して情報共有し、患者の個性に合わせた退院支援に取り組んでいます。今後は、より専門性を高めた看護を提供し、自身の選択肢が広がるよう研修への参加やクリニカルラダー取得をしてステップアップを目指します。

私生活においては、3人の子どものおり職場の理解を得ながら、同職種の妻と協力し日々の育児に奮闘しています。妻の出産の際には育児休業を取得し、育児に専念することができました。今後も仕事と育児を両立しながら頑張っていきたいと思っています。

専門看護師・認定看護師 は こんな 活動 しています

糖尿病看護認定看護師

垣田病院
糖尿病看護認定看護師 森下 草子



糖尿病看護認定看護師となり10年経ちました。資格習得後から「糖尿病療養支援室」外来を開設し、病棟勤務と週1回糖尿病療養支援室で糖尿病患者さんの支援を行っています。

支援室では生活の様子や困りごとの相談、フットケアの支援を行っています。病棟からの依頼により、血糖コントロール目的や教育入院患者さんへ支援行っています。

また、研修参加により自己研鑽に努めると共に、院内や新人研修、外部研修において知識の提供も行っています。

超高齢社会となり独居や高齢夫婦の糖尿病患者さんへの、インスリン注射や内服管理はもちろん食事の管理に苦渋する場合が少なくありません。スタッフや他職種と情報交換し患者さんと一緒に出来ることは何かを、社会資源の利用も考えながら検討を重ねています。

今後も、糖尿病患者さんが「病があってもその人らしく生きられる」というゴールを目指し、患者さん一人一人に寄り添った支援を行いたいと考えています。

最終回

「看護は愛の業」

竹内 緑

1954年生まれ 鳥取県出身

鳥取県立中央病院にて約12年間看護師として勤務

1992年より、国際NGO(日本国際飢餓対策機構)の海外スタッフとしてソマリア、ゴマ(旧ザイル)の難民キャンプ、アンゴラ、エチオピアなどで緊急救援に携わる。

2006年よりルワンダで、大虐殺によってトラウマ(心的外傷)を負った人々への支援に従事する。

2011年よりルワンダのNPO「CIESPD」(Christian Initiative Education for Sustainable Peace and Development)に属し、トラウマを癒すための活動を行っている。

「私たちの働きは表面的ではなく、深くならなければなりません。私たちは、心に届かなくてはならないのです。心にまで届くには、行いの中に愛がなくてはなりません。」

マザー・テレサ

アフリカと関わって30年、臨床を離れて30数年を経た今、変化の著しい医療の世界は隔世の感があります。そのような者が看護について言及するのは僭越ですが、アフリカでの体験を通して得た私見を述べます。

私共の活動の受益者の中に、双子の女儿とその母がいます。母は、孤児として孤児院で育ち長じて恋人ができますが、彼女にてんかん発作があることを知った恋人は去ってゆきます。その時、彼女は既に妊娠していて、やがて双子を出産します。この双子が1歳3か月の時、親子に出会いました。当時母はスラム街のような所に住み物乞いをしていました。双子は、体重が約6キロ、首は不安定で寝返りもできない、顔色は悪く発熱し咳をしていました。明らかに二人は栄養失調であり、呼吸器系或いは何らかの感染症に罹患している。このまま放置すれば早晚死に至る、と強い危機感とある記憶が蘇って来ました。

それは2000年、エチオピアの東部で5歳以下の子供たちの栄養失調の治療に当たった時のことでした。その年、大旱魃に見舞われたエチオピアでは、ラクダを家畜として生きる遊牧民の人たちに甚大な被害を齎しました。特に弱い乳幼児に深刻な栄養失調として影響を与えました。筆者は2か月間そこで働きましたが、中にはその治療所に到着後24時間以内に亡くなる重篤な幼児がいました。その痛みを伴った体験が双子への決断を促しました。

この親子を数十キロ離れた私共のシェルターへ受け入れ、治療およびケアを開始したのは2017年12月でした。双子に治療食を与え、母には定期的に病院を受診させ、てんかん発作への対応と同時に他の疾患への治療も併行しました。そして今日、双子は回復して本年9月には小学校へ入学します。母は、支援を開始した当初、問題行動が多く陰鬱な表情でしたが、2年余り前から穏やかな表情に変わりました。

看護は科学に裏付けられた愛の業であると、筆者は考えます。私共の受益者は、精神的、肉体的、経済的、社会的な弱さを抱える人たちです。この人々と接する時、愛の必要性を強く感じます。「愛には恐れがない。…愛は忍耐強い、愛は情け深い…礼を失せず…、自分の利益を求めず、いらだたず…」(聖書)

受益者の心に届く愛を下さい、と祈る者です。



治療にやって来た栄養失調の幼児(顕著な腹部の膨満と下肢の浮腫が見られます)と母。2000年、エチオピアで。



文中の双子(1歳数か月)と母、双子は自力で座れません。



文中の双子(6歳7か月)、2023年

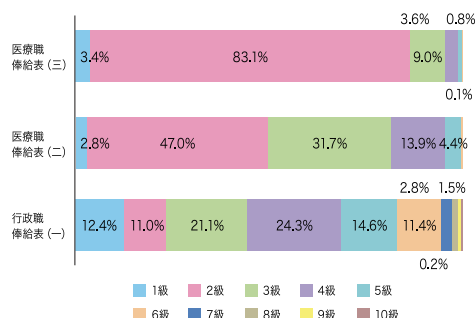
看護職員の処遇改善について②

広報委員会

2022年11月18日に、「看護師がキャリアアップに伴いより高い職能の級に昇格できる」よう、国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表が改正されました。

これを機会に看護職員一人ひとりが、看護職にふさわしい賃金について考えてみましょう。このことについて、今年度4回シリーズで、「日本看護協会労働政策部」発行リーフレットの紹介をしていきます。

看護職員の賃金(給与)は、 昇格しないと上がらない。でも 管理職のポストは限られている



出典:「令和3年国家公務員給与等実態調査」(人事院)

賃金(給与)とは、労働の対価として雇い主から支払われるお金のことで、基本給と各種手当の総額です。基本給は、残業代やボーナス、退職金の額にも影響します。

看護職員の賃金の特徴は、賃金カーブが非常に緩やかなこと、つまり給与の上昇幅がとても小さいことです。

図は、国家公務員俸給表級別適用人数の構成比です。看護職員に適用される医療職俸給表(三)では、新人から副看護部長まで約8割の看護職員が2級に留め置かれ、何年勤めても(認定看護師になっても、経験を積んで熟練しても)看護部長にならない限り昇格しません。しかも、昇格のポストは限られています。公立、民間を問わず看護職員の賃金制度が医療職俸給表(三)の影響を受けている場合には、同様の問題が生じます。



(出典:公益社団法人日本看護協会リーフレット)

がんカフェ からのお知らせ

がんとう向き合う方々(がん患者ご本人・そのご家族・ご友人・医療関係者やサポートされている方々)がお茶を飲みながら、ゆっくりとした雰囲気できつろぎと安心のなかで交流していただく場所です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

東部会場

城下町とっとり交流館「高砂屋」
(鳥取市元大工町)

西部会場

(公社)鳥取県看護協会 米子事務所
(米子市加茂町 国際ファミリープラザ内)

開催日: 毎月第1・第3水曜日(祝日除く)
※時間は、いずれも午後1:30から午後3:30までです。

参加費無料

事前予約は不要

*令和5年度の開催日程は、当協会ホームページをご覧ください!

令和5年度鳥取県看護協会役員 選挙開票結果

令和5年6月4日

役職名	当落	氏名	得票数 (書面表決)	得票数 (総会投票)	得票総数
会長 理事	当	松本美智子	3,138	106	3,244
副会長 理事	当	徳田 順子	3,133	106	3,239
常任 理事	当	谷口 玲子	3,131	106	3,237
保健師職能理事	当	川上美都江	3,131	106	3,237
全区 理事	当	山本 健一	3,127	106	3,233
東部地区理事	当	田中 幸世	3,132	106	3,238
中部地区理事	当	竹本 智美	3,132	106	3,238
西部地区理事	当	岡本 文枝	3,133	106	3,239
監 事	当	谷口 祐子	3,131	106	3,237

令和6年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員 選挙開票結果

令和5年6月4日

役職名	当落	氏名	得票数 (書面表決)	得票数 (総会投票)	得票総数
代 議 員	当	川上美都江	3,129	106	3,235
代 議 員	当	大谷多賀子	3,128	106	3,234
代 議 員	当	森田 理恵	3,133	106	3,239
代 議 員	当	高須 美香	3,122	106	3,228
代 議 員	当	山本 健一	3,118	106	3,224
予備代議員	当	山村 裕子	3,128	106	3,234
予備代議員	当	松浦 治代	3,122	106	3,228
予備代議員	当	遠藤 明美	3,121	106	3,227
予備代議員	当	岡野 正恵	3,121	106	3,227
予備代議員	当	田淵 裕子	3,121	106	3,227
予備代議員	当	酒本さおり	3,120	106	3,226
予備代議員	当	小林 尚美	3,119	106	3,225
予備代議員	当	島田真由美	3,117	106	3,223

投票総数 3,295 票

理事会報告

第1回 令和5年4月20日(木) 13:00~16:30
場所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和5年度通常総会の開催方法について
2-2 令和5年度通常総会への提出議案について
議題 令和5年度鳥取県看護協会役員の選出並びに令和6年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選出について
2-3 令和5年度委員会委員の承認について
- 協議3. 管理的事項
今回はなし
- 協議4. 人事関係
4-1 組織図・業務分掌表
4-2 令和5年度公益社団法人鳥取県看護協会役員業務分担(案)について
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
1-1 令和5年度重点政策・重点事業並びに事業計画について
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会理事会報告・法人会報告
今回はなし
- 2-2 事業報告
1) 業務執行理事報告
2) 各委員会報告
3) 令和4年度重点政策・重点事業の実施状況と評価について
4) 各事業報告
(1) 高齢者介護施設看護職確保推進事業について
(2) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応事業について
(3) 看護フェア2023の開催について
- 報告3. 管理的事項
3-1 令和4年度会員数最終報告について
3-2 令和4年度後期(10月から3月)長期療養者報告について
- 報告4. 人事関係
4-1 看護協会内人事異動について
- 報告5. その他
今回はなし
- 報告6. 書面報告
令和4年度第5回理事会議事録
令和4年度第6回理事会議事録
- その他 トルコ地震に対する寄附について

第2回 令和5年5月12日(金) 13:00~15:00
場所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和5年度通常総会の運営について

- 2-2 令和4年度決算報告及び監査報告(案)について
- 協議3. 管理的事項
今回はなし
- 協議4. 人事関係
今回はなし
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
今回はなし
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会理事会報告・法人会報告
今回はなし
- 2-2 事業報告
1) 常務理事報告
2) 業務執行理事報告
3) 各委員会報告
4) 各事業報告
(1) 令和4年度ナースングデイこすもす事業報告について
(2) 令和4年度鳥取県医療的ケア児等支援センター東部相談窓口事業報告について
(3) 令和4年度訪問看護ステーション事業報告について
(4) 令和4年度鳥取県看護協会居宅介護支援事業所事業報告について
(5) 看護職員のための訪問看護職場体験事業について
(6) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修について
(7) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応事業について
(8) 令和5年度認定看護管理者教育課程(ファーストレベル・セカンドレベル)・鳥取県看護職員実習指導者養成講習会の応募状況について
(9) 2023「看護の日」PRバス企画について
(10) ナースングデイこすもす3周年イベントについて
(11) 「看護職賠償責任保険制度」並びに「災害支援ナース養成研修等」に係る説明会の開催について
- 報告3. 管理的事項
3-1 令和5年度会員数報告について
- 報告4. 人事関係
4-1 職員の採用・退職について
- 報告5. その他
今回はなし
- 報告6. 書面報告
令和4年度第7回理事会議事録
令和4年度第8回理事会議事録
令和5年度第1回理事会議事録
- その他

第3回 令和5年6月4日(日) 12:40~12:50
場所 鳥取県看護研修センター

【協議内容】

- 第1号議案 会長の選定(案)について
第2号議案 副会長理事の選定(案)について

- 第3号議案 常任理事の選定(案)について
第4号議案 令和5年度理事の委員会・事業担当(案)について

第4回 令和5年6月4日(日) 14:10~16:20
場所 鳥取県看護研修センター

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
今回はなし
- 協議3. 管理的事項
3-1 会長代行及び副会長代行の優先順位(案)について
- 協議4. 人事関係
今回はなし
- 協議5. その他
今回はなし

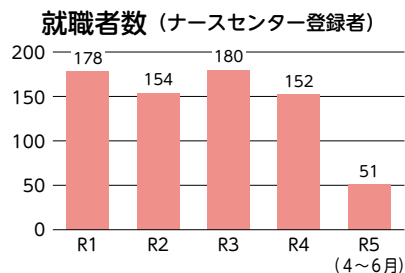
【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
今回はなし
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会理事会報告
2-2 事業報告
1) 業務執行理事報告
2) 各委員会報告
3) 各事業報告
(1) 入会促進計画について
(2) 看護フェア2023について
(3) 看護管理者向けメーリングリストの運用について
(4) 令和5年度地域包括ケアシステム推進研修会の開催(案)について
(5) 看護職員のための訪問看護職場体験事業について
(6) 看護補助者キャンペーンウィーク事業について
(7) 新型コロナウイルス感染症対応事業について
(8) 2023「看護師基礎教育を考える会」について
(9) ナースングデイこすもす3周年記念イベントについて
(10) 合同委員会について
- 2-3 会議報告
1) 2023年度都道府県看護労働担当者会議
- 2-4 その他
1) 中部四志会運営協議会について
2) 令和5年度行事予定(日本看護協会・鳥取県看護協会)
- 報告3. 管理的事項
今回はなし
- 報告4. 人事関係
今回はなし
- 報告5. その他
今回はなし
- 報告6. 書面報告
6-1 令和5年度第1回理事会議事録
6-2 令和5年度第2回理事会議事録
- その他

鳥取県 ナースセンター便り

第2号

『鳥取県ナースセンター』は厚生労働大臣の許可を受けた看護職のための**無料職業紹介所**です。
就業相談や仕事の悩みなどお気軽にご相談ください！



鳥取県ナースセンターに登録した求職者のうち、
毎年**150名**以上の方が就職につながっています！



ナースバンク事業

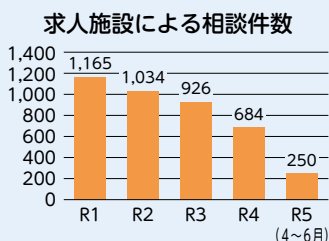
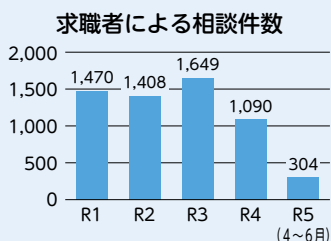
ナースセンターでの相談

相談時間：平日10:00～16:00

相談方法：来所、TEL、オンライン

- 仕事の相談、退職後の相談、進学相談など
- 採血練習も可能です（要予約）
- 土曜日の相談をご希望の方は事前にご相談ください

相談件数実績



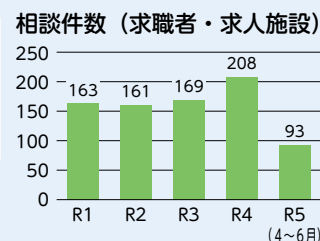
ハローワークへの移動就業相談

鳥取・倉吉・米子のハローワークで移動就業相談会を定期的に開催しています。

※詳しい開催日程はホームページをご覧ください

相談件数実績

鳥取 } 1回/月
倉吉 }
米子 2～3回/月



再就業支援研修事業

再就業に不安がある方や、学習を希望する方を対象に就業支援を行い、職場復帰のサポートをしています。

※詳細はホームページをご覧ください

県内就業促進事業

看護学生・未就業の看護職の方が自分に合った就職先と出会うための支援として県内の医療機関が各圏域ごとで説明を行う『看護職員就職ガイダンス』を年に1度開催しています。

その他の事業

看護補助者キャンペーンウィーク事業

全国的に看護補助者確保困難の深刻化から、就業者を増やすことを目的に、日本看護協会の受託事業として取り組んでいます。

- 看護補助者の仕事説明会
- 看護補助者のお仕事体験
(令和5年7月25日(火) 鳥取県立中央病院)
- 看護管理者へのアンケート調査

訪問看護職場体験事業

訪問看護ステーションに勤務する看護職員の確保のため、求人の出ているステーションで就業を希望する方の職場体験を募集しています。

※給付金支給型

高齢者介護施設の新人看護職確保事業

高齢者介護施設で働く新人看護師がやりがいを持って就業の継続ができるよう支援しています。

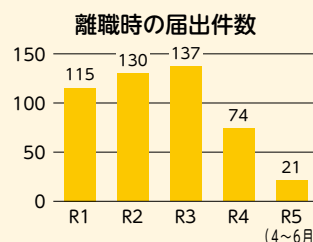
- 高齢者介護施設に従事する新人看護師交流会
(令和5年8月23日(水) 鳥取県看護研修センター)

届出制度「またいつか働きたい」をサポート

看護職員が病院等を離職した際は都道府県ナースセンターへの届出が必要です。
職場を変えられる際には届出をお願いします。



看護職等の届出サイト
とどけるん



鳥取県ナースセンター

E-mail tottori@nurse-center.net

TEL 0800-222-1232



日本看護協会名誉会員に、
関戸 夏江 様が承認されました

協会歴

- 鳥取県看護協会
鳥取県支部助産婦部会長
- 助産婦職能委員長
- 中部地区長
- 中部地区理事

表彰

- 日本看護協会助産婦部会長表彰
- 鳥取県看護協会会長表彰(優良看護職員)
- 日本看護協会会長表彰

令和5年度
日本看護協会会長
表彰

鳥取県看護協会会長
表彰
(優良看護職員)

厚生労働大臣表彰
(優良看護職員)

中村 真由美 (博愛病院)

【功績】看護管理者として、地域の看護の質向上に尽力した他、地区理事、監事として協会運営・事業推進に貢献した。

有田 恭子 (鳥取高草地域包括支援センター) 横山加奈子 (鳥取市医療看護専門学校)
湯浅 良恵 (垣田病院) 山本 博子 (鳥取県済生会境港総合病院)

【功績】永きにわたり協会委員会の委員として協会の運営・事業推進に貢献した。

鈴木 妙 (公益社団法人鳥取県看護協会)

金田 由佳 (谷口病院)

【功績】看護業務に精励し保健衛生の向上発展のため尽力した。

協会からのお知らせ

第17回

鳥取県 看護研究学会

一経験から未来に
つなぐ知と心一

日時

令和5年11月11日土
9:00 受付開始

ハイブリット方式

開催方法

- ▶鳥取県看護研修センター
- ▶ZOOM

申し込み

8月14日(月)~9月8日(金)

※マナブルでお申し込みください
※看護学生については事務局までお問合せください

参加費

看護協会会員：3,000円
非会員：5,000円
学生：1,000円

プログラム

10:00~13:30 看護研究発表
13:30~15:00 特別講演



〈特別講演講師〉
鈴木 雅人 氏

〈特別講演テーマ〉
看護職に求められる相談対応コミュニケーション

「令和」の看護職に欠かせないスキル。それが「相談対応力」です。院内で提供する医療的な「ケア」はもちろん、予防や退院後の包括的な支援、家族問題等、疾病の周辺にある生活への「ケア」も行うのが、現代の看護職だからです。しかし、とにかく多忙で時間がないのに、患者さんの価値観は多様化しているという大変な現状があります。だからこそ、ただ相談に時間を割けば良いのではなく、効率的に対応していく必要があるのです。本講演では、看護職に求められる効率的な「相談コミュニケーション」についてお話させていただきます。

お問合せ先 公益社団法人 鳥取県看護協会 〒680-0901 鳥取市江津318-1
TEL (0857) 29-8100 FAX (0857) 29-8102
mail Kensyu@tottori-kangokyo.or.jp

令和5年度 地域包括ケアシステム推進研修会 (三職能合同・公開講座)

—ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護—

日時 令和5年12月23日(土) 会場 鳥取県看護研修センター「大研修室」
13:00~16:00 ハイブリット開催 (ZOOM配信)

対象 鳥取県全域

(看護職等保健・医療関係者、介護職等福祉関係者、医療・介護学生、一般県民)

参加費 医療(看護)・福祉関係者 500円
※学生・一般県民は無料

申込 令和5年10月1日(日)~
期間 11月30日(木)

13:00 開会

13:10 特別講演 「全世代型地域包括ケアシステムを推進するために
~看護職の更なる役割発揮とは~ (仮題)」

講師 国際医療福祉大学 国際医療福祉大学大学院 副大学院長
教授 福井 トシ子 氏
(公益社団法人日本看護協会 前会長)

14:30 実践報告 テーマ ~ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護~
以下実践報告者調整中

- ①保健師職能委員会 ②助産師職能委員会
- ③看護師職能委員会Ⅰ ④看護師職能委員会Ⅱ

16:00 閉会

(公社)鳥取県看護協会では、令和2年度から令和4年度までの3年計画で、地域包括ケアシステムの推進に係る「すきまを埋め、つなぐための多職種連携」をテーマにフォーラムを開催してきました。人生100年時代の少子高齢問題が特に深刻になる2040年を見据え、全世代の人々の健康と生活を守るため、看護職が多職種と連携し、高い専門性を発揮することが社会から期待されています。そこで、令和5年度は、「ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護」をテーマに、各職能委員会からの実践報告等、県内のキラリと光る好事例について実践報告及び意見交換をする場とします。また、これらの取組みを、介護職等福祉職や一般県民にも広く周知する機会とします。みなさまのご参加をお待ちしております!



「看護の日」キャラクター・

かんどちゃんの着ぐるみを貸し出します

鳥取県看護協会では、「かんどちゃん」(着ぐるみ)の貸し出しを行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



研修管理システム

マナブル

manaable

操作マニュアルとQ&Aをホームページに掲載しています。
利用者登録をお願いします。



新刊図書



認知症plus
緩和ケア

編集 認知症の緩和ケアに関する研究会
平井佐土司、小川朝生、
遠矢純一郎、桑田美代子、
高井ゆかり、鈴木みずえ
日本看護協会出版会 発行



災害現場での
トリアージと応急処置
第3版

編集 山崎 達枝
日本看護協会出版会 発行



今年度のテーマ「私の癒し」についてお伝えします。先日、我が家の花壇にミトマトが実りました。夏本番となり猛暑の日々が続きますが、夏野菜の収穫を楽しみにしているところです。看護においては新型コロナウイルス感染症の5類移行後、地域との交流の機会が増えているように感じます。看護に携わる皆様と地域の皆様とのネットワークがより充実し地域へつなぐ看護が提供できることを願っております。
(広報委員 山本有)

